

災害+人災・コロナ対策・自己報告

とてつもない暑さの夏も、あっという間に線状降水帯に置き換わり、多数の地域で被害が発生している始末です。

TVで繰り返される『これまでに見られない規模で、すでに被害が発生している恐れが…』。ずさんな処理での過去が、忘れた頃に土砂崩れや土石流の結果を示すのです。

絶景を目の前にした思い出多い棲家が、あっという間に無くなってしまふ事等、誰もが考えてもみなかった事でしょう。



お盆期間結果が出てくる時期を目の前にして、全国で2万5千人を超える新規感染者、止まることが見えてこない現状に、無力感も出てきそうですが、そうも言って居られないのですよね。

率先して感染拡大を抑える方策が必要なのです。

特に、若い世代での発症が多い結果は、今すぐにワクチン接種や自己規制の努力だけでなく、考えられる治療に取りかかるべきです。

発症4日以内に使用しないと効果が見られないという薬剤も、入院扱いでないと使えない等と決めていることは、十分な効果が見られないというちぐはぐな対応に外なりません。

これらは、予防、治療そして実行行為を一本化して進めないことから出ているのではないかと考えます。

船頭多くして、方向が定まらない結果になっている恐れがあります。

今こそ強い指導力と実行力が求められ、それが解決策になる事でしょう。



話題を変えて、自己報告です。

連日無休の運動は、8月末で5674日を数えました。

体重は60kg前後で快調です。

冷房の部屋での仕事は、坐骨神経痛の発症になるようですが、鎮痛剤の力を少しだけ借りております。

次男の友久が外来の半分以上をカバーしてくれているので非常に助かっております。

もう少し頑張れそうです。

収まらないコロナ禍、めげずに諦めずに、取りあえずはワクチン接種と自己規制で乗り切りましょう。

明るい終息時期は間もなく見えて来ますよ。

また来月に…。